



### 軟化チェック方法

他社の矯正剤とは反応が違うので、通常の軟化チェックに加え下記の軟化チェック方法を必ず行ってください。

軟化と膨潤は違います。【軟化】はS-S結合を切る役割で、【膨潤】は還元剤を毛の内部に入れるための役割ですので、

【軟化】は必要ですが、必要以上の【膨潤】は不要です。

AWSBは膨潤がほぼ起きず、毛髪強化剤を混ぜることで髪の強度をUPさせ【過膨潤させずに軟化】を促します。

そのため、毛束をコームに巻き付ける軟化チェックでは、軟化していても毛束は元気に跳ね返り、軟化不足と感ずる場合があります。

1 毛束(10~15本前後のごく少量)をとります。

※薬剤を拭き取り行う。  
※シャギーが入っている部分の毛束は避ける。

2 新生部やクセの強かった部分に、玉結びをつくります。

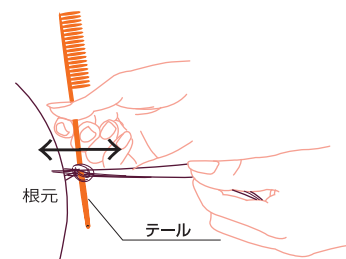
※玉結びは、上でも下でも構いません。

3 玉結びの輪にテールをさし込み、薬剤が塗布されていない根元まで輪を移動し、左手で毛束を少し引っ張り、玉結びをテールにしっかりと結びつけます。

4 左手で毛束を引っ張るのをやめると、玉結びがふわっと大きくなります。(根元には薬剤がついておらず軟化していないため)

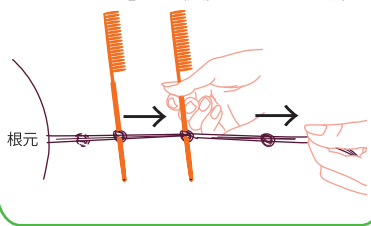
5 テールをさしたまま、玉結びを薬剤が塗布されている位置までスライド移動させます。もう一度、左手で毛束を少しひっぱり玉結びをテールにしっかりと結びつけます。

6 左手で毛束を引っ張るのを止めます。この時に玉結びの輪がテールにピチッと結びついたままか、ふわっと大きくなるかを確認します。大きくなったら毛束をひっぱり再度結びつけ、また引っ張るのを止めて輪が大きくなるかを確認します。玉結びが結びついたままで大きくなければ軟化OKとなります。



### 軟化OK

毛束を支えるだけ(引っ張らない)で、玉結びを毛先に向かい移動させ軟化状態を確認します。軟化している場合は、テールに玉結びが吸いつくようにしっかりと巻きつき移動がしづらくなります。



### BCA公式YouTube

動画で軟化チェックを詳しく見れます。

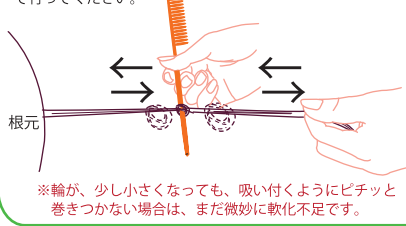


※スライド中にコームを抜かない。必ず毛先まで、輪を転がし結び目をほくようにしてください。

※輪が残ったままコームを抜くと髪が結ばれてしまい、ほどけなくなってしまうのでご注意ください。

### NG

毛束を引っ張るのをやめ支えるのみにすると、玉結びの輪が大きくなり、スルスルと簡単に移動できる。輪が大きくなったら毛束を再度引っ張り、輪を小さくします。その力を抜き、細かく前後に輪を動かしてみてください。輪が大きくなるなら、軟化不足です。軟化チェックは何箇所かで行ってください。



※輪が、少し小さくなくても、吸い付くようにピチッと巻きつかない場合は、まだ微妙に軟化不足です。

### 絶対にダメージさせないために!

■万能的な毛髪強化剤を、髪状態で使い分けて顧客満足度200%に

#### bca matrix + α

細毛~普通毛のダメージ毛に  
艶と保湿力を高める毛髪強化剤



#### bca matrix + β

細毛軟毛~ハイダメージ毛に  
補修力を高める毛髪強化剤



#### HELTER SKELTA



#### AFTER ALL

尿素配合で、保湿・消臭・アルカリ除去に  
優れた酸リンス処理剤



#### Aglaia HYDRA MOIST

ゴツキやすい髪を「なめらか」な  
質感に仕上げる毛髪専用保湿化粧水。  
美容液スタイリング剤としても使用可



#### Aglaia GROSS PROTECTION

パサつき広がる髪を「なめらか」な質感に仕上げる  
保護補修ローション。熱や紫外線ダメージから守る  
アウトバストリートメントとしても使用可



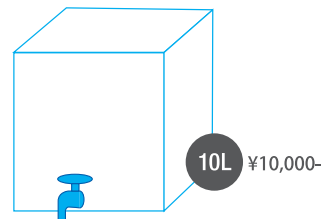
#### Aglaia +α

剛毛・硬毛で特に乾燥したダメージ毛に  
保湿力と補油力を高める質感重視型の  
毛髪強化剤

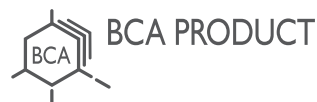


#### 浸透水

還元を妨げない純水。毛髪強化剤・薬液浸透を  
高める希釈液。薬剤のバランスを崩さず減力も可



※上記価格すべて税別



ビーシーエフプロダクツ株式会社  
東京都渋谷区神宮前 2-18-15-2F  
http://www.bca-product.co.jp

商品のお問い合わせは [カスタマー・サポート・センター] まで [E-mail: info@bca-product.co.jp]

☎0120-850-870 携帯電話からは 03-5772-3577

※広告記載の製品名は国内での商標または登録商標です。

ストレートオンカラーの繰り返しはもう怖くない

中性域ストレート・縮毛矯正剤

# AWSB

All Woman Sister's Band



# 縮毛矯正 ストカール アイロンパーマも この1セットで 自由自在



中性域ストレート・縮毛矯正剤  
**AWSB**  
All Woman Sister's Band

## AWSB特徴

- ノーマル～ミディアムスペックまで対応
- 髪の繊維を壊さずに軟化できる
- 既ストレート部のオーバーダメージを最小限に
- 縮毛矯正後に、パーマ・カラーが自由自在
- カラー毛に施術しても褪色しない  
(カラー施術後、5日経過した髪の場合)
- 超微アルカリの為「膨潤」は最小限に
- 1液放置中は、中性域で反応する為髪に優しい
- 1液水洗後もアルカリ残留ゼロ。安心してアイロンができる
- 放置中・仕上がり後も臭くない
- ふんわり艶やかな仕上がりノンシリコン処方

## AWSB+bca matrix+ $\alpha$ & + $\beta$ 使用した際の特徴

セルフカラーや白髪染めなどで  
痩せた髪も、しっかり毛髪強度をアップ

ダメージしやすく伸びづらい髪も  
しっかり伸びるまで、放置ができる

過膨潤をさせずに、軟化をうながす  
施術ができる

施術後、時間経過した際も、よい質感が  
持続する

コールド系パーマ困難毛には  
クリーブパーマ対応もできる性能

## 全てクセ毛のハイダメージ毛の 縮毛矯正ビフォー&アフターと 6ヶ月後の持続力



BEFORE AFTER  
前処理は、表面と中間から毛先のダメージ部と産毛に  
 $\alpha$ : $\beta$ =1:1。特にハイダメージ部分には $\beta$ を再塗布。  
前処理を行っていない部分にAWSB①液+ $\alpha$ 15%配合  
を塗布し、残液に $\beta$ 10%加えたものを前処理済み部に  
直ぐに塗布し自然放置17分後、水洗・アイロン・2液。  
2液水洗後、ノートリートメント・ハンドドライの仕上げ。

良い状態を維持するためのPOINT  
● 毎日のシャンプーに $\beta$ を併用  
● 濡れたまま寝ない  
● カラーには $\alpha$  $\beta$ を20%併用して、  
施術を行うこと。セルフカラーや  
他店で施術を行わない

## 実例

## AWSB対応範囲 伸びる力は、ノーマル～ミディアムスペック

■ 伸ばすために「ハードスペック」が必要な髪には  
兄妹品の「HELTER SKELTA」を併用します。

アルカリ濃度を高める事なく、中性域反応を維持しながら、  
還元力だけを強くして、伸びづらい強いクセに対応します。

## HELTER SKELTA

アルカリダメージをなくした  
超低膨潤・高還元な中性域パーマ剤

【チオ濃度11・アルカリ濃度0.3】

400ml



## ストレートパーマ 放置時間目安 【bca matrix+ $\alpha$ ・ $\beta$ を併用した場合】

弱いクセ毛	少し伸びづらいクセ毛	伸びづらいクセ毛	ハードスペックが必要な強いクセ毛
15～20分 前後	25～30分 前後	最大45分 放置 (ヘルターを併用した場合30分放置)	ヘルターを併用して30～45分放置

## アイロンパーマ 放置時間目安

髪状態	健康毛	ローダメージ	白髪染め毛		カラー毛	
			元の毛質			
			普通毛～硬毛	細毛・軟毛		
放置時間	$\alpha$ $\beta$ 有り	約15～20分	約10分	約7分	約10分	約10分
	$\alpha$ $\beta$ 無し	約10～15分	約7分	約3～5分	約5～7分	約5～7分

初めて お使いになる方へ……詳しい使い方は施術マニュアルをご参照ください

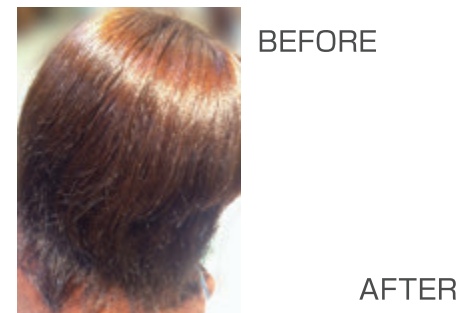
- 還元剤としてチオグリコール酸を配合。【チオ濃度7】放置中、中性域で反応して髪を傷めにくいストレート剤です。
- 過度にキューティクルを開いたり、アルカリダメージが起きず過膨潤しないので、軟化していないように感じます。
- チオ濃度7で、ノーマル～ミディアムスペックまで対応できる還元力がある為、放置をしていただければ伸びます。

※ AWSBはアルカリ濃度0.28の為、加温しても時間を短縮する事は不可能です。ラップして自然放置をおすすめします。

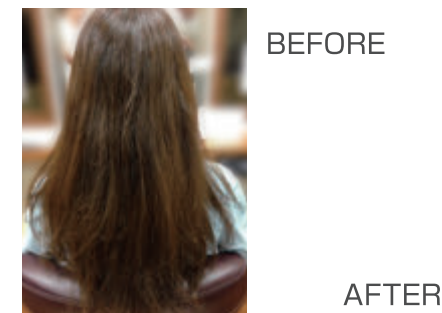
## 施術の流れ

- 1 プレシャンプー・毛髪診断
- 2 完全ドライ・毛髪診断
- 3 前処理  
(フェイスライン・毛先・ハイライト部などに  
 $\alpha$ ・ $\beta$ ・Aglia+ $\alpha$ を塗布。)
- 4 1剤塗布後、自然放置  
(タイムは髪質により異なります。)  
(髪状態に合わせ $\alpha$ ・ $\beta$ を併用)
- 5 軟化チェック  
※裏ページ記載の軟化チェック参照
- 6 水洗
- 7 ドライ (完全ドライ)
- 8 アイロン処理 (しっかりとさんで、ノンテンションで  
ゆっくりアイロンスルー)
- 9 2剤処理 (放置5～6分)

### 縮毛矯正



### ストカール



### アイロンパーマ

